



鍵の いない生活

スマートホームの教科書

A GUIDE FOR SMART HOME

株式会社三和テレム
代表取締役

小白悟 著

Crossmedia Publishing

●はじめに

〈私たちがスマートホームを手がける理由〉

新しい生活様式――。

この言葉が一般的に使われるようになったのは、新型コロナウイルスの感染拡大以降です。意味するのは、感染対策と日常生活、そして経済活動を両立させる暮らしのスタイルですが、コロナ禍以前から、社会のさまざまな領域でスマート化（オンライン化）が進んでいた側面もあります。

高齢化する日本の社会は、労働人口の減少期を迎えたこともあり、テクノロジーの活用による生産性向上が喫緊の課題です。また、製品やサービスを提供する側だけでなく、利用する側、つまり生活者を取り巻く環境も変わりつつあります。意識する、しないに関わらず、私たちはネットワークでつながれた、新しい生活様式を受け入れており、コロナ禍で需要が一気に顕在化したのではないのでしょうか。

私たちの日常生活を取り巻く環境の変化で、最もわかりやすいのが住空間のスマート化です。以前から、電気の見える化と効率利用で節電、環境負荷の低減を目指すスマートハウスは存在しましたが、コロナ禍以降に注目度が高まっているのが、本書のメインテーマである「スマートホーム」です。

新型コロナウイルスの感染拡大とともに普及したりリモートワーク。単身者の場合、それまでは帰って寝る場所だった自宅が、在宅勤務でワークスペースとなるケースも増え、仕事しやすいようにスマート化の需要が生まれました。「モノのインターネット」と呼ばれるIoTが家電、住宅の設備に取り入れられることで、ファミリー層やシニア層が、利便性を身近に感じられるようになっていきます。

スマートホームの魅力については、第1章以降で詳しくふれていきますが、注目度が高まる反面、普及に向けての課題があるのも事実です。

- ・ 設置・設定はほぼ自己責任（保守サポートがない）
- ・ 設置難易度が高い（通信環境の整備、機器の選定、メーカーごとのアプリ数の多さか

ら管理が困難、設定自体の難しさ)

・各種工事が発生した際の手配等が煩雑

このように、スマートホームの導入を検討しても、高いハードルがいくつもあるのが現状で、途中で挫折してしまうケースもあります。デバイスやネットワークに関しての知識があるなら別ですが、自信のない方々、特にシニア世代となると、入口のところでお手上げではないでしょうか。

そこで、三和テレムでは、通信環境の構築や電気工事、スマートホーム機器の設置や設定、そして保守までをワンストップで提供するサービス「IoTele（いおてれ）」を開始しました。便利で快適、そして安心・安全なスマートホームを、より幅広い層に提供したいという思いが、このサービスには込めてあります。

●半世紀以上の実績、経験を生かせる新しいビジネスモデル

なぜ、三和テレムがこうしたサービスを始めるに至ったのか。最初に少し補足しておきましょう。

三和テレムの設立は昭和46（1971）年。50年以上、電信電話網の建設、保守に携わり、電力・情報通信ネットワークなどのインフラ構築、建物総合管理サービスを提供してきました。今回のスマートホーム事業とのつながりで大きいのは、10年ほど前からのWiFi（ワイファイ）関係の工事実績です。

今、WiFiは通信インフラとして定着しており、コンビニやカフェといった店舗、大型の商業施設はもちろん、富士山でも使えるようになってきているほどです。2021年に開催された東京五輪に合わせて整備が進んだため、諸外国に比べて遅れているとされてきた日本のWiFi環境も、かなり改善されました。

当社も工事を数多く受注してきましたが、WiFiの普及と比例するように、社会で注目され、製品、サービスとして形になっていったのがIoT。まず産業分野での利用から始まり、今では家電など身の回りの多くの製品もIoT化しています。

このWiFi、IoTの普及を、当社はビジネスチャンスだと受け止めました。会社の設立から50年以上かけて培ってきた、情報通信、電力のインフラ構築、建物の総合管理の知見、ノウハウを基盤にしながら、新しい事業を創造できると考えたからです。具体的

な形が「スマートホーム」でした。

インターネット、Wi-Fiを含めた通信環境の整備から、スマートホーム関連のIoTデバイスの設置と運用、そして保守までを一気通貫に提供できる会社は、日本にはあまり存在しません。ビジネスの視点で見ても、下請けが中心だった従来の業務から、自社で付加価値を提案できる事業者に進化することで、成長戦略の中でも大きな柱になる可能性を秘めています。

● テレビリモコン、電子レンジのように使えるスマートホーム

スマートホームに関して、みなさんはどんな印象をお持ちでしょうか。

「デジタルやネットワーク知識がないと使えない」

「特別な環境が必要になる」

「準備するものが多く、コストが高い」

最も多いのは「デジタルやネットワーク知識がないと使えない」、つまり「難しそう」と思います。ここに関して、当社には明確なイメージがあり、それは「テレビのリモコン、電子レンジのように使えてこそそのスマートホーム」です。

お年寄りでも、テレビのリモコンの使い方がわからないという人は、あまりいないでしょう。電子レンジにはいろんな機能がありますが、「あたため」のようなオートボタンを押すだけでも、料理をあたためることはできます。どちらも、使いこなすのに特別な知識はいりませんよね？

当社が考えるスマートホームも同じです。デジタルネイティブと呼ばれる若い世代はもちろん、小さな子どもがいるファミリー層、そしておじいちゃん、おばあちゃんまで、すべての世代の人たちが簡単に使え、誰でも便利で快適、安心・安全な暮らしを実現してこそ、そのスマートホームであり、新しい生活様式ではないでしょうか。

では、テレビのリモコンや電子レンジのように使え、暮らしに付加価値を添えるスマートホームは、どうすれば実現するのか。実際にサービス提供している事業者だからこそわかるポイントをふまえ、できるだけわかりやすく、解説するために本書を企画しました。

みなさんが、スマートホーム化に向けて一歩踏み出し、QOL (Quality Of Life = 暮らしの質) を高めるきっかけになれば幸いです。

2023年2月吉日 株式会社三和テレム 代表取締役 小白悟

はじめに〜私たちがスマートホームを手がける理由〜……………
半世紀以上の実績、経験を生かせる新しいビジネスモデル／テレビリモコン、電子レンジのように
使えるスマートホーム

第1章

鍵のいらない生活
スマートホームで実現する豊かな生活

IoT×ネットワーク×住宅Ⅱ
便利で快適、安心・安全なスマートホーム……………
IoTを住宅に取り入れ、さまざまなメリットを生み出す／便利だけでなく、セキュリティ、省エネにも貢献できる／誰もが直感的に利用し、メリットを感じられるように

ひとり暮らしからシニア世帯まで

スマートホームで暮らしはこう変わる

20代・デジタルネイティブ世代で「スマートホーム」に抵抗感がない／30代・情報感度が高く「スマートホーム」への関心も強い／40代・50代・親が高齢になり「スマートホーム」を使った見守りを検討／60代・インターネットリテラシーが低く「スマートホーム」導入には消極的／70代以上・パソコンやスマホを持っていないことも多い／高齢者にこそスマートホームをおすすめする理由／「誰も置き去りにしない」スマートホームを届けたい

スマートホーム化の準備① まず、通信環境の基礎を知る

スマートホームに欠かせない通信環境の基礎知識／電波を効率よく使うための無線LANルーターの置き場所

スマートホーム化の準備② 家電に限らず、住宅設備も対象に

玄関ドアもカーテンも、まとめてスマート化できる

通信環境と機材を揃えればスマートホーム化は自分でできる？

スマートロックは電気の供給をどうするかがポイント

確認すべきポイントが意外に多い

DIYスマートホームの注意ポイント

大手ECサイトで販売されていても、すべて安心ではない

シーン別。今日から始める快適な スマートホーム生活

快適娯楽生活① この利便性と楽しさは、一度知ると手離せない……………064
 スマートホーム化にあると便利なアイテム、スマートスピーカー／スマートスピーカーはこう選ぶ
 ／コーヒーマーカーのスマート化で朝が変わる

快適娯楽生活② キーレス＋顔認証で、暮らしがここまで変わる……………072
 想像以上にメリットの多い「鍵のない生活」／外出先からでも宅配便の受け取りが可能に

健康管理 自動で開閉するカーテンが、睡眠の質まで改善する……………079
 体内時計を整えるのに役立つスマートカーテン／毎朝、朝日を浴びることで良質な睡眠も得られる

時間短縮・節電 家事、買い物の無駄もなくせるスマートホーム……………085
 出かけている間に、部屋の中はピカピカに／買い物の時間短縮、そしてフードロス削減にもつながる

防犯・セキュリティ スマートホームが我が家のガードマンに……………092
 外出先からの施錠、家電等のコントロールができる／センサーとの連動で侵入等を検知できる／離

第3章

住んでよし・管理してよし・売ってよし・ 持ってよしのスマートホーム

れた家族やペットの見守り／室内も室外も。用途が広がるネットワークカメラ／失敗しないネットワークカメラ選びのポイント

コミュニケーション 離れていてもつながれる、スマートな親孝行…………… 103

子ども、孫たちとのグループ通話も簡単にできる／話しかけるだけで、今日の予定を教えてくれる

リモートワーク スマートホームで加速する働き方改革…………… 109

スマートスピーカーでビデオ会議の効率をアップ／スマートホームがビデオ会議を進化させる舞台に

オーナー（大家さん）編 投資ビジネスとしても可能性は大…………… 118

スマートロックで鍵の管理、交換から解放される／インカムゲインか、キャピタルゲインか／家賃収入だけに頼ると思いきった冒険は難しい／スマートホームという価値を持たせれば売却益に期待できる

管理会社編 売上にもつながる営業、管理のスマート化……………129

夏も冬も、いつも快適な室内にお客さんを案内できる／ロボット掃除機の遠隔操作で室内をピカピカに／空室にありがちな「臭い」対策もスマート化

高齢者施設編 大きな可能性を秘める「サ高住×スマートホーム」……………139

サ高住のスマートホーム化でみんながハッピーに／室内のスマート化で精神的にもゆとりが生まれる

スマートホームのコスト編 キーワードは「ワンストップ」にあり……………145

回線導入、機器の設定、保守までをワンストップで／スマートホームが住宅のデフォルトになる日を目指して

利用者の声① 活用法…スマート家電で自動化……………152

利用者の声② 活用法…日常生活や子育てをサポート……………154

利用者の声③ 活用法…高齢な両親の見守り……………156

第4章

スマートホームだけじゃない 2030年の未来像

スマートな未来予想図① 10年後、スマートフォンはなくなる!?…………… 164

お隣の韓国では5G接続があたり前になっている／スマートフォンからウェアラブル端末へ

スマートな未来予想図② 一人ひとりにAIコンシェルジュがつく社会…………… 170

ウェアラブルからインプラントへ

スマートな未来予想図③ 「仮想空間」「人間拡張」でヒトが変わる…………… 175

6Gで飛躍的に進化するメタバースの世界

スマートな未来予想図④ 自動化、スマート化で世界は変わる…………… 180

スマートホームの存在価値はますます高まる

あとがき…………… 184

謝辞…………… 188

カバーデザイン 都井美穂子

本文イラスト 村山宇希(ぼるか)

編集協力 山下隆(株式会社エディ・ワン)

執筆協力 小野塚久男